

科目名	単位数	学年	必修・選択	備考
応用数学 I・A	3	3	必修	文型

1. 科目の概要・学習目標

①数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

②場合の数と確率，図形の性質または整数の性質について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を養い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

2. 成績・評価・観点の割合（観点別評価の重みもここで記載）

(1)テスト：提出物等＝85：15

(2)評価は「定期考査・確認テスト・提出物・振り返りシート・授業態度」を数値化して行う。

1、2学期は素点を付け、学年末には5段階評価を付ける。

【年間の評価方法】

1，2，3学期評価（100点満点）を平均して算出し，5段階の評定に換算する。

80点以上…5，79～65点…4，64～50点…3，49～35点…2，34点以下…1

3. 使用教科書・副教材

(1)改訂版 高等学校 数学 I（数研出版）、改訂版 高等学校 数学 A（数研出版）

(2)改訂版 リンク数学演習 I・A 受験編（数研出版）

4. 授業展開・形態・方法（授業の進め方、受講に当たって臨む態度、少人数・習熟度など）

3クラス4展開で行う。

受験対策クラスでは、共通テストの過去問題対策も行う。

教科書等を持参すること。演習した内容を反復し、基本的な内容の定着を図ること。

5. 学習方法・学習のポイント（自学の進め方、予習・復習の方法など）

スタディーサプリや副読本を活用し、きちんと家庭学習を行うこと。